

静岡県国民健康保険団体連合会
第3期中期経営計画【概要】

《令和4年度～令和6年度》

令和4年3月

静岡県国民健康保険団体連合会

策定の趣旨

本会は、国民健康保険をはじめとする社会保障制度を取り巻く情勢や環境の変化のほか、国の政策や動向に適切に対応していくため、これから何をなすべきか、どのように変わっていくべきかを念頭に置き、長期な取組みが必要な課題と方向性を明らかにして、計画的に取り組んでいく必要があることから、この計画を策定する。

計画の進め方と期間

【進め方】

- 中期経営計画の基本理念及び経営ビジョンに基づき、令和3年3月に策定した本会の「経営戦略」との整合を図り、国保連合会と国保中央会が策定した「国保連合会・国保中央会のめざす方向」の基本的な方向性に沿って業務改革と基盤強化を進める。
- 第2期中期経営計画の実施結果を踏まえ、保険者サービスの一層の充実と業務改革を推進する。

【期間】

- 令和4年度から令和6年度までの3年間

今回の計画の特徴

事業規模の把握と費用対効果の検証を行えるよう、事業に関わる職員数及び経費を見える化した。

【基本理念】

- ◆ 本会の活動を通じて、医療保険制度の円滑な運営に貢献する

【経営ビジョン】

- ◆ 保険者に良質なサービスを提供することで、保険者満足度 100%を目指す
- ◆ 安心、安定、安価(AAA)をモットーに事業を運営して、組織の発展を図る

経営戦略

【財政運営の安定化】

- 保険者ニーズの動向を本会の財政事情とのバランスを考慮
- 第3期中期経営計画の進捗状況との整合
- 健全で安定した財政状況を維持していくための方策の検討

【組織体制の充実・強化】

- 保険者ニーズの動向と本会の財政事情とのバランスを考慮
- 第3期中期経営計画の進捗状況との整合
- 保険者が行う医療・保健・介護・福祉業務支援を行うことができる専門家集団を目指す
- 「財政基盤の強化に向けた基本方針」に準じて組織体制の充実・強化を検討

第3期中期経営計画【重点施策】

【業務改革の方向性】

- ① 市町等への支援業務(医療・保健・介護・福祉)の強化
- ② 新国保制度と都道府県の役割の増大に対応した業務の強化
- ③ 審査支払機関改革に対応した診療報酬審査支払業務の強化
- ④ データヘルス改革の推進

【改革に向けた基盤強化】

- ① 職員の資質向上と人材育成の強化
- ② 組織体制の強化と活性化の推進
- ③ 財政基盤の確立と健全な財政運営の強化

重点施策 【業務改革の方向性】

① 市町等への支援業務（医療・保健・介護・福祉）の強化

基本的な考え方

具体的な取組み

国保、後期高齢者の医療費や介護保険、障害者総合支援事業の給付費の増嵩が進む中で、保険者による被保険者の健康増進、医療費適正化対策及び介護給付適正化対策等の充実に寄与し、給付の効率化を図るため、保険者支援の基盤となるシステム運用業務の充実と安定かつ効率化に努め、これまで以上に医療・保健・介護・福祉部門に関する市町等の支援業務を強化する。

- ア 国保総合システム等の更なる安定稼働と次期更改に向けた円滑な移行
- イ 第三者行為求償事務の継続的な取組強化による底上げ
- ウ 効果的な介護給付適正化事業の研究と巡回援助等による市町への積極的支援
- エ 後期高齢者医療広域連合からの受託業務の充実

② 新国保制度と都道府県の役割の増大に対応した業務の強化

基本的な考え方

具体的な取組み

新国保制度は概ね順調に実施されているが、県においては、引き続き国保財政の安定化、国保事務の効率化を進めることが予想されるため、本会では県と更に連携強化を図ることで本会の果たすべき役割を拡充していく。

- ア 本会の得意分野（医療費等データ分析）を活かした保健事業の展開と大学との共同研究等による人材育成

③ 審査支払機関改革に対応した診療報酬審査支払業務の強化

基本的な考え方

具体的な取組み

厚生労働省、支払基金及び中央会の三者連名で策定した「審査支払機能に関する改革工程表」に基づき、計画の具現化を図るとともに、「人とシステムの審査業務能力向上の好循環による審査業務の高度化・効率化の追求」に取り組む。

- ア 審査結果の不合理な差異の解消と審査に関するエキスパート職員の育成
- イ 療養費の適正な給付に向けた審査体制の整備

④ データヘルス改革の推進

基本的な考え方

具体的な取組み

国においては、デジタル改革推進の司令塔として、「デジタル庁」が創設されたことから、これまで以上にデータヘルス推進などにより都道府県の役割が強化され、保険者からの支援が求められることから、県及び保険者に対してはKDBシステム・茶っどシステムのより良い活用方法を積極的に提案していく。

- ア KDBシステム・茶っどシステムを活用した分析支援の強化

重点施策 【改革に向けた基盤強化】

① 職員の資質向上と人材育成の強化

| 基本的な考え方 | 具体的な取組み |
|---|--|
| <p>本会が策定した「経営戦略」との整合を図り、連合会を取り巻く社会情勢や環境の変化に合わせ、保険者の負託に十分応えられる専門集団であり続けるため、職員の意識改革を進め、更なるスキルアップを図っていく。</p> | <p>ア 職員研修の強化による人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> (ア) 目的・目標の明確化 (イ) 職員研修検討会による研修計画策定・実施 |

② 組織体制の強化と活性化の推進

| 基本的な考え方 | 具体的な取組み |
|--|---|
| <p>本会が策定した「経営戦略」との整合を図り、退職者数等を勘案し、有能な人材の確保に努めるとともに業務の変革に積極的かつ迅速に対応できる組織体制を整備し、職員の能力を最大限引き出せるように人員配置と職場の環境づくりを推進する。</p> | <p>ア 環境変化に対応した積極的かつ迅速な組織運営と適正な人員配置</p> <ul style="list-style-type: none"> (ア) 環境変化に伴う組織体制の構築 (イ) 再任用職員等のキャリアを活かした部署への配属 |

③ 財政基盤の確立と健全な財政運営の強化

| 基本的な考え方 | 具体的な取組み |
|---|---|
| <p>本会が策定した「経営戦略」との整合を図り、財政運営の健全化を確保するため、適正な負担金・手数料単価の設定、事業経費の縮減と業務の効率化、基金・積立金の計画的な活用などにより、低コストで良質なサービス提供を行い、安定的な財政運営を目指す。</p> | <p>ア 持続可能な財政運営の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> (ア) 実勢単価による適正な手数料単価の設定(2年毎見直し) (イ) ICT 積立資産の造設計画 |